

監督 メンテナンス



①作業員を指揮し②安全と品質を確保しながら
③法令を守って④工程どおり進める、
メンテナンス工事の「キーマン」。



メンテナンス監督とは？

メンテナンス監督の業務は、メンテナンス工事全般の管理です。計画した工事内容をスケジュールどおりに進行させ、一方で工事の品質や安全も確保しなければなりません。経験を積んだ監督の場合、それらに加えて工事が予算内に収まっているかの管理なども担うようになります。

メンテナンス工事には装置の検査なども含まれますが、検査で欠陥が見つかった場合は、その補修など予定外の業務が発生することもあります。このため、臨機応変な対応と、あらゆる補修方法に関する幅広い知識も要求されます。

監督の一日

現場による差異はありますが、代表的な一日の工程は次のとおりです。

8:00	出社:本日の作業の確認 全体朝礼:工事全体の確認事項や注意事項の伝達など
8:15	個別ミーティング:本日の作業内容や安全品質などの注意事項を班ごとに確認
9:00	作業開始:現場状況確認(進捗や品質、安全性など)、工事記録の作成など
12:00	昼休
13:00	作業再開:午前中と同様の業務
15:00	お客様と打合わせ:本日の進捗状況や明日の工事予定、その他連絡など
17:00	現場作業終了:現場の片付け状態や当日の進捗状況等の確認など
17:30	事務所で作業日報の作成、明日の予定確認、工事記録確認など 退社

メンテナンス監督



メンテナンス監督に特に求められる能力は何ですか？



- ・統率力:多くの作業員が監督の下で働きます。作業員を取りまとめ、工事を円滑に進めるために必要な能力です。
- ・先を読む力:工事を成功させる大きな要素に、着手前の段取りがあります。これから行う工事にはどのような準備が必要か、また他の工事がどこまで進んでいなければならないかなどを考え、スムーズに進められるように準備できる能力が必要です。



監督が行う主な仕事は何ですか？



工事中は常に次の内容を管理します:

- ・工程管理:予定と進捗状況を比較し、遅れそうな場合は対応を検討します。
- ・品質管理:定められた工事の品質を満たしているかや、間違えないかをチェックします。
- ・安全管理:作業者が安全な方法および現場環境で作業できるように注意を払います。
- ・原価管理:作業員数や資材の使用量が決められた範囲を超えていないかチェックし、差が出た場合は対応を検討します。

免許&資格

監督者に絶対必要な免許・資格は特にありませんが、次の資格(免許)を持っていると有利です

- ・施工管理技士
- ・監理技術者
- ・溶接管理技術者など